



大阪部会(第31回)

日 時: 2012年12月15日(土) 16:00~18:00

場 所: AP大阪4階F会議室

【内容要旨】

第31回の大阪部会は、大阪西梅田の貸会議室にて開催された。出席者は11名。

- (1) まず、経済教育ネットワーク理事の野間から、最近の活動内容および今後の予定について報告した。2013年度「先生のための経済教室」の開催場所と日程が確定し、内容の検討も始まっている。大阪では8/5(月)に中学教員、8/6(火)に高校教員向けの研修が予定されている。新たに試みられるプログラムとして、経済学者あるいはエコノミストと現場教員との連携の仕方などについて議論した。
- (2) 2/9(土)稚内北星学園大学、2/16(土)川口市立里中学校にてワークショップが予定されている。また、3/23(土)には同志社大学で年次大会が開催される。法と経済をテーマに、大学教員2名、現場教員2名によるシンポジウムが中心的な内容となる。
- (3) 河原和之氏(関西大学中等部・立命館大学)より、「橋本市政を「公正」と「効率」の観点から検証する」と題した授業実践の報告があった。公正と効率に関する教科書の事例を使って概念の学習をした後、大阪市の政策を公正と効率の観点から分析することを生徒に体験させている。公正と効率という評価軸を与えることで、現実問題をより深くバランスよく理解させることができそうである。
- (4) 丹松美代志氏(池田市教育委員会)から、11月の全中社研(高松市)の公開授業セッションで報告された「私たちと経済 価格の働き」の資料が紹介された。需要、コスト、競争が価格に与える影響を生徒に調べさせ考えさせようとした授業例である。ミクロ経済学の標準的な考え方は少々異なっており、「付加価値」のとらえ方などに問題点が指摘されたため、あらためて修正方法を検討することになった。なお、関連して、西村理氏(同志社大学)が大阪北千里高校で行った講義資料が斉木英範氏から配布された。そこには、価格と付加価値の関係についての標準的な理解が示されている。
- (5) 山本雅康氏(奈良学園中高)より、近年の「時事問題」の事例と、それに関するセンター試験の模擬問題の紹介があった。時事問題解説への教員ニーズは高く、新年度の夏の経済教室でもプログラムのなかに設けられる予定である。
- (6) 川上敏和氏(同志社大学)から、政府の役割について経済学的な整理が紹介され、公共財、独占、外部経済性などについて解説された。前回部会の河原氏の報告の最後に、公共財に関する授業例が取り上げられ、公共財の定義について議論になったことを受けての補足説明であった。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2013年2月23日(土)18:00~20:00、場所は未定。